



昭和十一年高知縣香

美郡城山高等小學校内香美郡第二區職員會 發行の本を参考にしてい
ます。香南讀本の目次は次の通りです。この中から「九、山北蜜
柑」「二三、産業組合」を話題にします。

目次

一、高知縣
二、香宗我部氏
三、嗚呼秀通公
四、土佐の民謠童謠
五、人絹工場
六、南學
七、友綱と玉錦
八、惠日寺詣で

九、山北蜜柑
一〇、土佐勤王維新史
一一、土佐勤王志士物語
一二、秋葉山
一三、産業組合
一四、宇多の松原
一五、無人嶋長平
一六、若一王子宮
一七、網
一八、山内規重父子
一九、天然記念物

二〇、瓦工場
二一、月見山
二二、吉永虎作
二三、鰹船
二四、棒術
二五、土佐の津浪
二六、蜜柑苗
二七、三寶山
二八、義人與右衛門
二九、城址誌

●山北蜜柑

この項に次の記載がある。

僕の内も父と姉に二人の手傳人も交じつて、朝早くから蜜柑山へ出かけた。僕とお爺さんとお留守居だ。もう八十の坂を越したお爺さんは、日當りのよい縁側に腰をかけて、何時もの居眠を始めた。……

お爺さんが杖にすがってひよたひよたと近寄つて来て、先程から僕等のするのをじつと見て居たが、やがて靜かに口を開いて、ぽつりぽつりと話し出した。

「今日は昨日よりも多いな。今でこそこんなに澤山蜜柑が出来たのだが、わし等が子供の頃にはまだ誰も作る者はなかつた。何で

も此村で一番はじめに蜜柑に手をつけたのは、貞岡直八さんぢやと思つてゐる。直八さんが天保の頃縣外旅行の歸りがけに紀州によつて蜜柑苗をもらつて來てそれを山崎善兵衛さんが、村上さんの邸の蜜柑に接いだところが、大變よく出來たといふので、はじめて此の村に、蜜柑がよい事がわかつたらしい。しかしだれもまだ畠などへ、植える者はなかつたが、桑名國次さんが、あの家の前の畠に植えたのがはじまりで、それからだんだん植えだして、今日の様になつたぢや。」

お爺さん八十歳で、この本が作られたのは昭和十年頃ですので、お爺さんは安政二年頃に生まれとなり、安岡の家の正風（覺之助

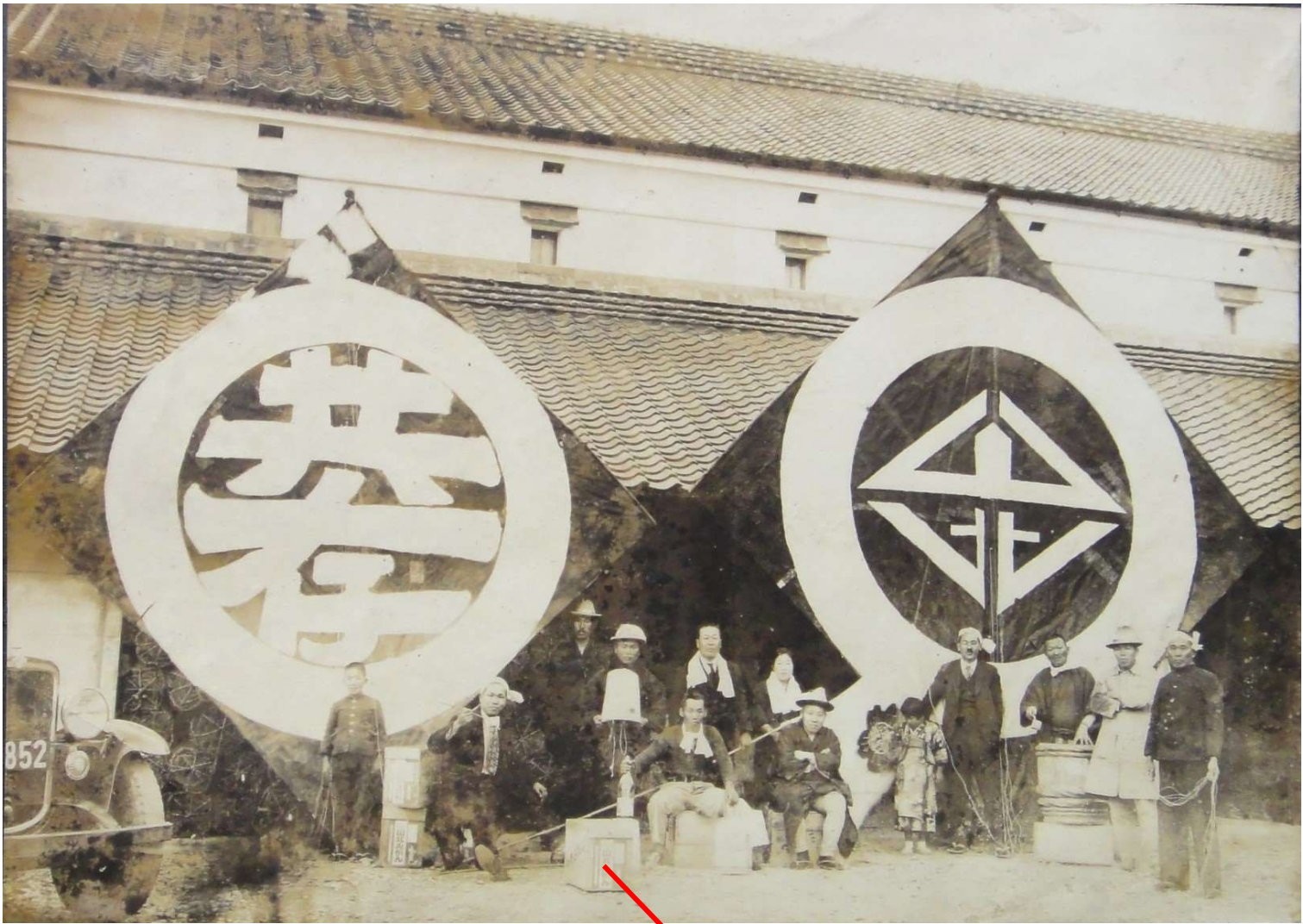
の次男)と同年齢です。山北に蜜柑を温州から持ち込んだ(貞岡)直八と安岡の家の関連を紹介します。直八の名は安岡の文書に色々の箇所に出て来ます。文助と碁仲間だったようで、文助日記に「貞岡直八来碁ヲ打」が多くあり、直八の女(娘)の嫁ぎ先なども書いていますので親しかったです。直八が文助と同じ齡とすると、安政生れのお爺さんは縣外に行った話を直八から直接聞いたのでしょう。文助日記に直八の家を役人が宿泊したことが書かれていますので、郷土レベルの家だったようです。

●産業組合

この項に次の記載がある。

組合には、石鹼だとか、帳、肥料、お菓子・種々な日用品が澤山あつて、まるで雑貨店の様です。・・今では、このあたりに、組合のない村はありませんか。さうして、こんな大きな建物も仲間であつて、澤山の牛を朝鮮まで行つて買つて來し、・・丁度、其の時、隣のおぢさんが、事務所にお金を預けに來て歸りました。

購買、金融などの機能を持つ産業組合は、現在のJAに当たるのでしよう。産業組合の全国組織はあり、秀彦は時々總會で出掛けていました。お爺さんの話に出て來る大きな建物などの写真を紹介します。



背後の蔵は昭和5年に建てられた産業組合の農業倉庫と思われる。蔵の前の菱形は大風で
右：山北、左：共存と書かれている。



箱に「山北みかん」の文字

次に牛購入時の様子を秀彦日記から紹介
します。土佐赤牛の源流か。

昭和九年十一月十一日 日曜 天氣 晴

朝準備ヲ整ヘ午前八時過一先ヅ組合ヘ行ク一行ヲ待チ合ハス約
束ナレバナリ 途中山本君ニ會フ組合ニテ又門出ヲシテ呉レル
微酔ニテ午前九時四十分頃愈自動車ニ乗ル一行八常石盛正 市村
寛吉 山崎隆治ノ諸氏ト自分ナリ我家ノ門前ニテ降りテ荷物ヲ積
ミ込ム佐喜等モ道路迄来テ呉レル富家ニテ服部組合長同乗野市
ニテ汽車ニ乗ル野市ヨリ岡村氏同ジク一行ニ加ハル後免驛ニテ
釜山行キ切符ヲ買フ沿道大(*歩)危小(*歩)危ノ秋景色非常ニ値

ナリ高松ヨリ宇野ニ渡リ汽車ニテ下関ニ向フ。名酒「久美愛*組

合?*」ヲ池田ニテアケ高松ニテ「樂心」ヲ其ノ空瓶ニ詰メ夕

十一月十二日 月曜 天氣 晴后曇

朝七時過下関着朝飯ヲ食フ午前十時三十分関釜連絡船慶福丸：

牛購入し高知に送られる

十二月十日 月曜 天氣 晴

朝七時頃隆彦家ヲ出デ棧橋へ向フ午前八時着ノ室戸丸ニテ鮮牛

着四十三頭皆無事山北カラ赤手拭テ牛ヲ索キニ来テ居ル富家力

ヲモ来テ居ル自分八一寸別役伯母上見舞ニ行キ其レカラ一向ニ

途中ニテ追ヒ着ク為・・介良通出テ漸ク一緒ニナル午後三時四十

分頃山北着組合へ迄一寸行ク夕食後又組合へ一寸行ク内カラモ

安岡栄次ヲ雇ヒ牛ヲ引キニヤリ一先ヅ内ノ牛屋へ繋グ・・・

・・・

十二月十二日 水曜 天氣 晴后曇

朝六時我家出發鮮牛浦戸着ニ付連レニ又行ク無事ニ十二頭受取
リ午后四時前歸組又組合ノ仕事ヤ牛ノ事務ニテ夜業又牛ノ委員
等卜小宴山崎小使我家迄来ル

＊＊昭和九年 計六十五頭の牛が山北に飼われていた＊＊

十二月十三日 木曜 天氣 曇小雨曇

組合へ出勤又組合デ今日八牛申込者ニ配給スル為朝力ヲ繁忙

午後四時頃漸ク分配ヲ終リ小宴非常ニ組合ニ好感ヲ與ヘ夕・・・



組合の自転車競走か

左手の建物が組合の事務所か。台風で山北川の氾濫で事務所が浸水した記録があるので、現在の蜜柑選果場付近か。

組合 **尋常小学校**





信用組合の事務所の前で

信用組合は金融部門で、昭和5年頃に設立されている。上写真で信用組合の看板があり、ドアにも白字で書かれている。自転車の写真の背後の建物と同じか。